第17回 花見山フォトコンテスト 応募要項

応募締切　2022年8月31日（水）必着

応募部門・各賞・審査員

■ 秋山庄太郎記念　花見山の四季部門 …… 福島市の花の名所「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品。
■ 福 島 ふ る さ と 部 門 …… 福島県の風景や行事などを撮影した作品。福島県の魅力を全国各地に発信する作品。
■ ユ ー ス 部 門 …… 学生を対象にした部門です。撮影テーマ：福島県内の『花のある風景・自然』

賞／部門	秋山庄太郎記念　花見山の四季部門	福島ふるさと部門	ユース部門
最優秀賞	秋山庄太郎賞　1点　副賞／秋山庄太郎額装作品	ふるさと賞　1点　賞金5万円	1点
優秀賞	2点　賞金1万円	2点　賞金1万円	3点
特別賞	レディース賞　1点　賞品	レディース賞　1点　賞品	高校生特別賞　1点
企業賞入選	11点 （企業賞協賛各社より各1点、他入選）	11点 （企業賞協賛各社より各1点、他入選）	—
審査員	秋山庄太郎写真芸術協会　秋山庄太郎写真芸術館	主催者及び主催者が委任する審査員	主催者及び主催者が委任する審査員

審査発表・入賞作品展示・表彰式

●2022年9月中旬に審査会を予定
●第一印刷花見山フォトコンテストホームページ にて審査結果を発表します。入賞者には、別途ご通知いたします。
●入賞者の表彰式及び、入賞作品展も開催を予定しています。

応募資格・形態・注意事項等　（花見山の四季部門・福島ふるさと部門）

●プロ、アマ問いません。
●応募作品は2021年9月以降に撮影したもので、他のコンテストへの応募や、応募予定のないものに限ります。また、雑誌、SNS、ブログなどにも未発表のものとします。（類似不可）
●作品は、四ツ切、ワイド四ツ切、A4カラープリント（銀塩・レーザープリント・インクジェットプリンター可）（パノラマサイズ、組写真、合成写真不可）
●お1人様、1部門につき3点まで応募できます。
●人物が被写体の場合は必ず相手方の承諾を得てください。肖像権侵害等の責任は負いかねます。
●撮影の際に、花見山や福島の環境に悪影響を与える行為はしないでください。また、自然保護と交通渋滞対策のための交通規制に従ってください。
●他の撮影者の写真を複写したり加工した作品の応募はできません。
●入賞作品の原版（フィルムまたはデジタルデータ）は、主催者の指定する日までにご提出ください。
●応募作品の著作権は、応募者に帰属します。
●入賞作品及び応募作品の使用権は主催者に帰属し、各種印刷物、商品、プリント展示、広告媒体、インターネットなどへ使用させていただきます。
●入賞作品をSNS、ブログ等に掲載することはおやめください。
●入賞者のご氏名、居住地（市町村名まで）、作品名は、展示および入賞者発表の際に掲示いたします。
●応募規定に反する場合には入賞を取り消すことがあります。
●応募作品の取り扱いについては十分注意いたしますが、万一の事故に対する責任は負いかねますので、予めご了承ください。
●応募作品は、原則として返却いたしません。
（プリント作品の返却を希望される場合には、応募用紙の返却希望欄にチェックを入れ、着払伝票などに返送先をご記入の上、作品と一緒にお送りください。）

応募先及び問い合わせ　〒960-8201　福島県福島市岡島字古屋舘1-2　株式会社 第一印刷
「花見山フォトコンテスト」W係宛　TEL 024-536-3232

キ リ ト リ

第17回 花見山フォトコンテスト応募用紙

1作品ごとに、写真の裏面左下に、テープで四隅をしっかりととめてください。（のり付不可）複数枚必要な場合はコピーしてお使いください。

■応募する部門に✓をつけて下さい ※必須
□秋山庄太郎記念 花見山の四季部門
□福島ふるさと部門
□ユース部門

■名前（ふりがな）※必須
■年齢※必須　歳
■作品タイトル（ふりがな）※必須
■住所（ふりがな）※必須　〒　－　都道府県
■撮影機材・データ　カメラ　レンズ　フィルター　その他
■シャッタースピード　■露出　■ISO感度　■使用フィルム　■三脚　1／（　）秒　F/　有・無
■返却希望欄　□ 返却を希望する　※宅配便（着払）でご返送します
■撮影意図※必須（出来るだけ詳しく。作品展などで作品とともに紹介いたします。）
■原版※必須（○をつけて下さい）　フィルム　・　デジタル
■撮影地※必須　市　町　郡　村
■整理番号（事務局記入欄）　W係
■電話番号※必須　（　）
■職業又は学校・学年
■性別　男・女
■撮影日※必須　令和　年　月　日

応募に際して、お預かりした個人情報は、入賞者への通知、作品展のネームプレート、作品展のご案内、作品返却希望者への返送、次回のフォトコンテストのご案内、HPでの紹介、企画のご案内に必要な範囲内で使用します。個人情報を厳重に管理し、漏洩、滅失及びき損等を防止し、第三者への無断開示は行ないません。

第17回花見山フォトコンテスト作品募集

◆福島ふるさと部門

福島県の風景や行事などを撮影した作品。
福島県の魅力を全国各地に発信する作品。

第16回　ふるさと賞「夕陽に染まる玉氷」古川 和行

ふくしま再発見。
ふるさとへの旅路。

優秀賞「土津神社の冬」笹岡 伸仁

優秀賞「弾ける朝波」大鐘 康夫

第17回花見山フォトコンテスト

◆秋山庄太郎記念　花見山の四季部門

福島市の花の名所「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品。

第16回　秋山庄太郎賞「朝日に染まる」堀江 廣行

花見山を写真で届けよう。
あなただけの花見山を紹介してください。

優秀賞「早春賦」矢舘 実也

優秀賞「花見山サイコー」相田 勝仁

Copyright 2022 daiichiinsatsu. All Right Reserved.

◆ユース部門　中・高校、大学、短大、専門学校など、学生を対象にした部門です。

最優秀賞　「紫陽花」
庄司 琴美

撮影テーマ：
福島県内で撮影された
『花のある風景・自然』

優秀賞「きれいな花」
愛川 綾乃

花見山公園をはじめ、福島県内で撮影された『花のある風景・自然』を若者の視点で写し出した作品を募集します。「感動！」「感激！」「おもしろい！」「楽しい！」などの気持ちがこもった写真を大歓迎します。
審査は、撮影技術の高さだけではなく、**着眼点の良さ**や**発想の斬新さ**に重点を置いて行います。

優秀賞「紫陽花」
渡邊 千尋

優秀賞「おじいちゃんの思い出のクチナシ」
菅野 鈴美麗

高校生特別賞「紫陽花」
遠藤 千華

【ユース部門の応募規定・注意事項】　※応募時に在学中の方に限ります。

- **応募作品は 2021 年 9 月以降に撮影したもので、他のコンテストへの応募や、応募予定のないものに限ります。また、雑誌、SNS、ブログなどにも未発表のものとします。**（類似不可）
- **プリントサイズは L 判（サービス判も可）から六ツ切までの大きさにプリントしてご応募してください。**（銀塩、レーザープリント、インクジェットプリンター可）（パノラマサイズ、組写真は不可）
- スマートフォンで撮影した作品もプリントすれば応募できます。
- お一人様、１部門につき３点まで応募できます。
- ユース部門の対象者が、他の部門に応募することもできます。ただしその場合には、応募するプリントサイズ、条件、選考基準などは、一般と同様の基準で行います。応募要項についてもよくご確認ください。
- **ソフトフィルターおよびトイフィルター以外のフィルターを使用した作品は応募できません。また画像加工（トリミングを除く）、画像合成、色の補正（モノクロ写真を除く）などが施された作品は応募できません。**
  ※カメラに搭載されている機能を使用する場合も同様とします。
- **人が写り込んだ作品は、その方の撮影許可、コンテストへの応募の了承を得るなど、プライバシー・肖像権に十分注意してください。**
- 撮影禁止の写真撮影や作品の応募はできません。撮影のルール、マナーを守って撮影してください。
- 他の撮影者の写真を複写したり加工した作品の応募はできません。
- 入賞作品の原版（フィルムまたはデジタルデータ）は、主催者の指定する日までにご提出ください。
- 応募作品の著作権は、応募者に帰属します。
- 入賞作品及び応募作品の使用権は主催者に帰属し、各種印刷物、商品、プリント展示、広告媒体、インターネットなどへ使用させていただきます。
- 入賞作品を SNS、ブログ等に掲載することはおやめください。
- 入賞者のご氏名、居住地（市町村名まで）、作品名は、展示および入賞者発表の際に掲示いたします。
- 応募規定に反する場合には入賞を取り消すことがあります。
- 応募作品の取り扱いについては十分注意いたしますが、万一の事故に対する責任は負いかねますので、予めご了承ください。
- 応募作品は、原則として返却いたしません。

（プリント作品の返却を希望される場合には、応募用紙の返却希望欄にチェックを入れ、着払伝票などに返送先をご記入の上、作品と一緒にお送りください。）

写真を通じて、福島の魅力を伝える。

美しい福島を広く皆様に知っていただくために開催してきた「花見山フォトコンテスト」は、今年で 17 回目を迎えます。写真家・故秋山庄太郎氏は、花見山公園を大変に愛され、数多くの作品を遺しました。第5回から秋山庄太郎写真芸術館のご協力で「花見山の四季部門」に秋山庄太郎賞を新設、第 14 回からは部門名に「秋山庄太郎記念」を掲げています。

「花見山フォトコンテスト」は、福島復興と地域おこしの活動の一環として、写真家の秋山氏が“福島に桃源郷あり”と賞賛したことで、全国に知られるようになった花見山をはじめとする、ふるさと福島の美しさを、写真を通してより多くの人々に知らせることを目的に開催しています。

また花見山フォトコンテストの作品展は、福島県芸術祭参加行事にもなっており、福島の芸術・文化の振興に寄与しています。

花見山フォトコンテストの開催趣旨
◎ふくしまの「美しさ」を伝える
◎花見山の「こころ」を伝える
◎写真の素晴らしさを伝える

「見せてくらんしょ」「ほんじゃ、見らんしょ」で50余年

二代目園主
故 阿部一郎氏

花見山の中心である花見山公園は、現在の園主・阿部一夫さんの祖父伊勢次郎さんが、生け花などに出荷する花卉を生産するために自宅前の山を開拓してできた花畑。それを一夫さんの父である一郎さんが受け継ぎ、雑木林だった山を切り開き、自ら苗を植えていくことで、花卉が咲き誇る美しい山になりました。

昭和30年頃から「花を見せてほしい」と訪れる人が増え、一般の方にも畑を開放するようになりました。皆さんが「見せてくらんしょ」（見せてください）と言うので、一郎さんは「ほんじゃ見らんしょ」（それじゃ見てください）と…。

その思いを今、阿部一夫さんが受け継ぎ、花見山を守っています。

秋山庄太郎（あきやましょうたろう）
（1920～2003）

東京・神田生まれ。原節子をはじめ女優のポートレートを数多く手がけ、第一線に立つ写真家としての地位を不動のものとする。さまざまな写真関連団体の重職を務め、写真文化の発展に尽力した。1965年頃から花の撮影に本格的に取り組み、以後ライフワークと定め、全国各地を「花行脚」する。1980年代半ばには、当時「知る人ぞ知る」地だった花見山公園を訪れて「福島に桃源郷あり」と表現し、その名を全国に広めた。1986年、紫綬褒章受章。1993年、旭日小綬章受章。2001年、福島市ふるさと栄誉賞受賞。

写真提供：秋山庄太郎写真芸術館（東京・南青山）

【主　　催】株式会社第一印刷
【特別協力】秋山庄太郎写真芸術協会、秋山庄太郎写真芸術館、株式会社福島銀行、株式会社松屋、株式会社秋山庄太郎事務所
【後　　援】福島県写真連盟、福島民報社、福島民友新聞社、一般社団法人福島市観光コンベンション協会、福島商工会議所
【協　　賛】カメラのキタムラ、東日本旅客鉄道株式会社福島駅、福島リビング新聞社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社福島支社、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社、丸善商事株式会社、常盤洋紙株式会社、株式会社光文堂東北支店、東洋インキ東北株式会社、誠伸商事株式会社、株式会社ヤマトヤ商会、DIC株式会社（予定）

表彰式・懇親会

表彰式では入賞者の皆様に賞状・副賞を授与し、審査員から作品の講評が披露されます。

表彰式後の懇親会は、和やかな雰囲気の中、情報交換や歓談を行い親交を深めます。

作品の活用

秋山庄太郎写真芸術館（東京・南青山）

福島銀行本店

福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ

今までの入賞作品は、多くの企業や公共機関等に貸出し、展示などに活用されています。ロビーやミーティングスペースなどに展示され、お客様の目を楽しませてくれると貸出先の皆様からも大変好評です。

◆秋山庄太郎記念 花見山の四季部門　歴代主要作品　「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品　（敬称略）

第１回グランプリ　古関喜典

第２回グランプリ　鈴木彦三

第３回グランプリ　鈴木彦三

第４回グランプリ　斎藤俊典

第５回秋山庄太郎賞　斎藤俊典

第６回秋山庄太郎賞　藤田健三

第７回秋山庄太郎賞　渡邉恒良

第８回秋山庄太郎賞　須田哲充

第９回秋山庄太郎賞　中村　繁

第10回秋山庄太郎賞　幕田芳典

第11回秋山庄太郎賞　渡邉恒良

第12回秋山庄太郎賞　笠原壽一

第13回秋山庄太郎賞　釜谷　茂

第14回秋山庄太郎賞　阿蘇周重

第15回秋山庄太郎賞　鈴木 彦三

◆福島ふるさと部門 歴代主要作品　福島県の風景や行事など、福島県の魅力を全国各地に発信する作品。（敬称略）

第４回準グランプリ　鈴木彦三

第５回ふるさと賞　小林敏行

第６回ふるさと賞　渡邉源一

第７回ふるさと賞　古関喜典

第８回ふるさと賞　西間木繁雄

第９回ふるさと賞　笠原壽一

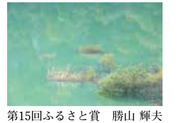
第10回ふるさと賞　藤田健三

第11回ふるさと賞　古関喜典

第12回ふるさと賞　栗原陽子

第13回ふるさと賞　古関喜典

第14回ふるさと賞　門林泰志郎



第15回ふるさと賞　勝山 輝夫